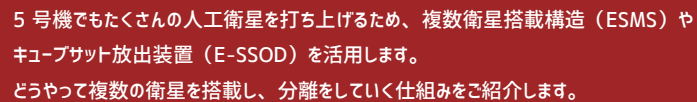




複数衛星搭載構造には HIBARI、Z-Sat、DRUMS の 3 つの超小型衛星を 120 度
づつ配置し搭載します。

衛星放出の際は、ロケットの軌道と姿勢を変え、放出後の衛星にぶつからないように順番に超小型衛星を分離します。

TeikyoSat-4 は RAISE-2 の隣に搭載します。



国際宇宙ステーションで利用実績のある放出機構「J-SSOD」をもとに、1U タイプキューブ
 サットを最大 3 機搭載可能な機構として開発し、複数衛星搭載構造の下部に 3 式
 取り付けられます。

ロケットからの信号により衛星ロックドアを開放し、キューブサットを放出します。

5 号機に搭載されるキューブサットは ASTERISC (3U)、ARICA (1U)、Advanced OBC of Nanodragon(3U)、KOSEN-1(2U) の 4 機です。

